

第3節 ディン・カムフォー第1トレンチ (DINH CAM PHO-1)

1 ディン・カムフォー地点の調査概要

ディン・カムフォー（カムフォー地区の集会場と廟の機能を合わせもつ）は、グエンティミンカイ通りの北側に面し、日本橋（来遠橋）から約250m西に位置する。現在の建物は1818年に造られたもので、その前庭が発掘地点である。調査は菊池誠一が担当し、1994年1月と3～4月、1995年7月に実施した。

第1次調査は2m×2mのトレンチ（第1トレンチ）を設定し、北西角に落ちこみを確認したため、その全容を明らかにする目的で北西側に3平方メートル拡張した。そして、溝状遺構（以下、溝と記載）1基を検出した。この溝は北東から南西にはしり、その中から多量の中国、日本、ベトナム陶磁器類が出土した。溝の下層（第1トレンチ溝覆土4層に対応）から中層（同2・3層に対応）にかけて、16世紀末から17世紀前半代の景德鎮窯系の碗・皿類と福建・広東窯系の碗・皿類が、上層（同1層に対応）から肥前磁器（伊万里焼）の碗・皿類が出土した。ベトナム陶器（瓶・鉢など）は各層から出土した。そのため、溝の構築年代は17世紀初頭前後と推定された。

第2次調査では、この溝の拡がりと性格を解明するため、第1トレンチの西1mの地点に2m×3mの第2トレンチを設定した。その結果、第1トレンチからつづく溝と新たに溝の北側に“川跡”を検出した。前回と同様、溝から多量の遺物が出土した。溝の下層（第2トレンチ溝覆土3層に対応）から上層（同1層）にかけて中国陶磁器片、上層と川跡から肥前磁器片が出土し、他にベトナム陶器・土器、銅錢、鉄製品、箸、子供の遊び道具、陶製煙管などが出土した。出土陶磁器は18世紀代にくだるものがほとんどなく、そのためこの溝は18世紀以前には埋まっていたと思われる。また溝の北側で検出された川跡は、調査範囲が狭いためその全容は不明であるが、深さは当時の地表面から約1.5mある。出土遺物は16世紀末から17世紀前半代の中国陶磁器、17世紀後半の肥前陶器、ベトナム陶器・土器、そしてレンガ類である。出土遺物や土層の観察から、この川は18世紀代には土砂や人為的な埋上によって埋まっていたと思われる。

第1次・第2次調査の結果から、当時の居住地は溝の南側に位置していたと推定し、第3次調査では前回の調査地点から南に約15m、グエンティミンカイ通りに面する北側地点に2m×3mのトレンチを設定し、調査をおこなった。

検出した遺構は、20世紀前半代のゴミ穴と17世紀代のピット、溝状遺構などである。ゴミ穴には大量の銃弾や車輪の廃材（フランス植民地時代のもの）が埋められていた。またピットから汽水性の貝殻が多く出土した。この貝殻には食した痕跡が認められた。他にレンガやベトナム陶器などが出土した。

ディン・カムフォー地点の3次にわたる調査の結果、グエンティミンカイ通り付近の地下約60cmに、16世紀末から17世紀にかけての遺構が良好に保存されていることが判明した。年代的にみれば、ホイアンが国際貿易港として成立する時期と一致し、当時あったとされる“日本町”や“中国町”と重なる時期の遺構である。溝から出土した多量の陶磁器類は人びとの居住の多さを語り、また当時の食器様相や使用住民を考えうえで貴重な資料となろう。ディン・カムフォー地点の遺構は、“日本町”か“中国町”的一部であった

ことは、ほぼ疑いのないところである。

なお、調査方法としては遺構内の遺物に関して、極小破片以外はその出土位置と深さを記録して取りあげた。深さの測定は、ディンの入口（図17参照）を仮原点（0m）とした。

2 調査日誌

第1次調査は1994年に実施した。

1月23日 発掘地点の撮影。南北方向にあわせて 2 m × 3 m の発掘区を設定。午後の作業終了間際に、発掘区の北西角から肥前磁器を発見。ダナン市と友好都市の調印に訪れていた川崎市議団見学。

1月24日 遺物集中部の写真撮影と実測。

1月25日 発掘区の写真撮影。発掘区北西角の遺構を1号土坑と命名（その後、拡張してこの遺構が溝と確認）し、遺物出土状態の写真撮影。発掘区の南側部分を自然層まで深掘。北壁と西壁の土層図の作成と写真撮影。その後、1号土坑の全容を解明するため、発掘区を北西に3平方メートル拡張。

1月26日 100分の1の測量図の作成。拡張区のⅧ層でピットを検出。

1月27日 休み。

1月28日 Ⅷ層下部から遺物が徐々に出土。写真撮影と実測。

1月29日 Ⅸ層下部の遺物出土状態の写真撮影と実測。多数の遺物が出土。

1月30日 1号溝の確認と掘り下げ。北壁際に落ちこみを確認（第2トレンチの調査でこの落ちこみが川跡の縁であることが判明）。また、Ⅸ層で取りあげた遺物は、この時点で1号溝の覆土出土と認定（Ⅸ層を溝1層とする）。

1月31日 1号溝の完掘。土層図の作成と写真撮影。

2月1日 埋め戻し。トゥーレ地点の100分の1の測量図の作成。

3 土層

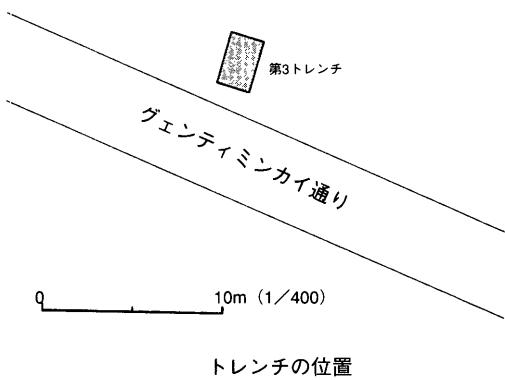
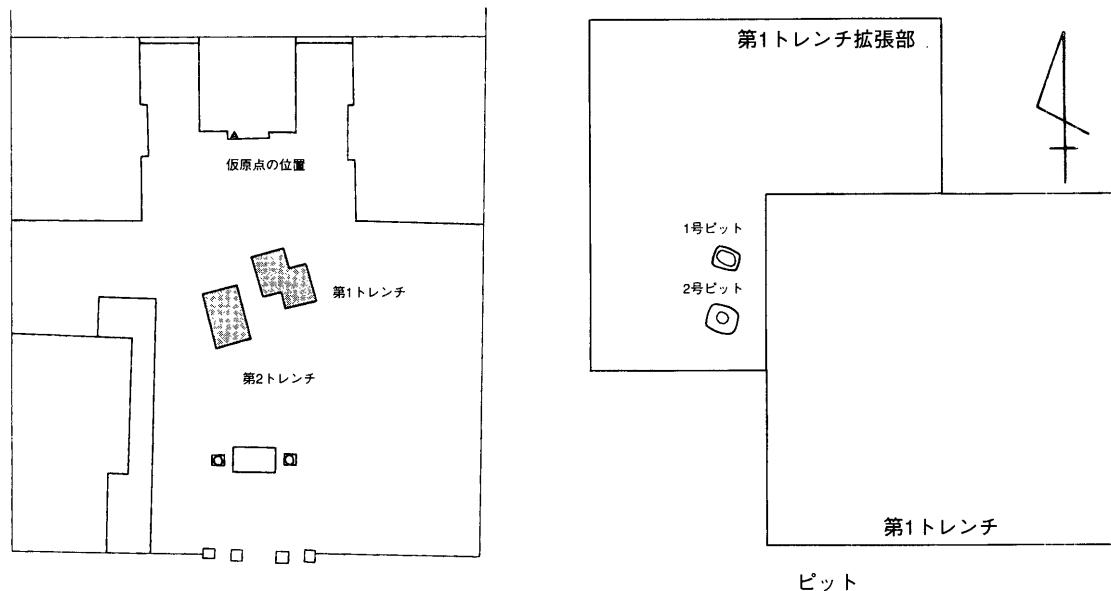
発掘区西壁の土層は9層（I～IX）に区分され、また溝状遺構の覆土は4（1～4）層に区分された。なお、この調査では土層の色調を表現するにあたって『標準土色帖』を使用していない。

9枚に分層された層のなかで、Ⅱ層からⅥ層までがディン・カムフォー建設にかかわる層であろう。それは、Ⅴ層に多数の小陶磁器片や貝殻、漆喰、レンガ片が出土しており、これがディン建設に不可欠の遺物と判断されたからである。つまり、陶磁器片はディンの屋根の装飾用に使用するものであり、貝殻は漆喰用の石灰をつくる材料であり、またレンガは基礎や壁の建築部材である。Ⅵ層に炭化物を多数含んでいることは、ディン建設にかかわる火焚き行為の結果と判断される。Ⅲ層とⅣ層の砂層は、ディン建設が終了し、建物の前を整地した層と判断された。このⅣ層から阮朝時代の通貨、“明命通寶”（1820～40年）が出土していることも示唆的である。なお、ディン・カムフォーの建設年代は、棟木の彫られた年号「嘉隆十七年」から1818年である。

4 遺構（図17、写真図版5）

この第1トレンチから、ピット2基と溝状遺構が検出された。

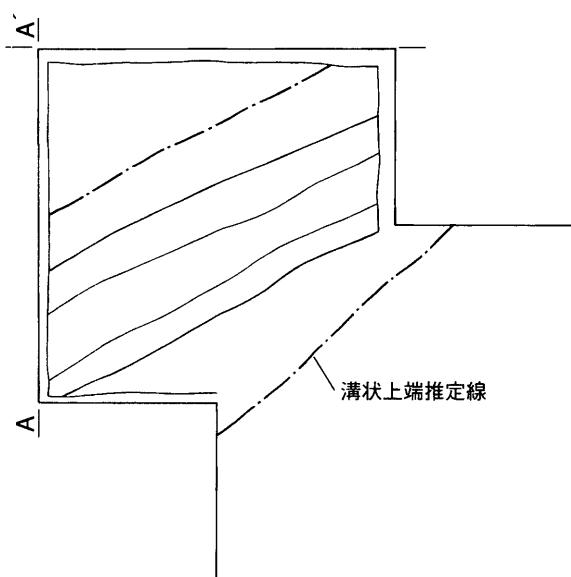
1号ピット：第1トレンチ拡張部のⅧ層上面で確認した。長方形を呈し、径16cm×12cmである。確認面からの深さは、約20cmである。覆土はV層の土である。



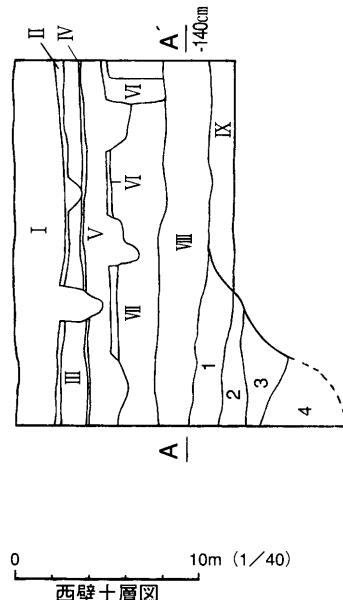
トレンチの位置

土層説明

- I層：表土。レンガ片を多数含む。
- II層：茶褐色の砂層で堅い。厚さは2～4cm。
- III層：黄色砂層。厚さは12cmほどである。
- IV層：茶褐色の堅い砂層。厚さは2cmほど。
- V層：黒褐色土。小さな陶磁器片やレンガ片、貝殻片、漆喰を含む。厚さ約20cm。
- VI層：黒褐色土。炭化物を多数、黄色砂やレンガ片を少し含む。厚さ約10cm。
- VII層：黄褐色土。粘土と砂を含み、わずかに炭化物が混ざる。厚さは10～30cm。
- VIII層：灰黒褐色土。粘土と砂、炭化物を含む。下部は1号溝の覆土。厚さは10～20cm。
- IX層：灰黄褐色土。粘土と砂、炭化物を少し含む。厚さは約20cm。
- 1層：灰黒褐色土。1cmほどの炭化物を含む。
- 2層：灰黄褐色土。粘土、砂、炭化物を含む。
- 3層：灰黄褐色土。粘土、砂、炭化物を含む。
- 4層：灰黄褐色土。炭化物を多量に含む。

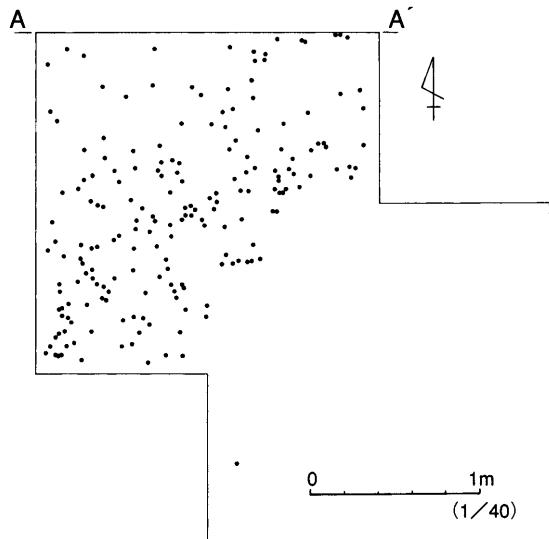


溝状遺構

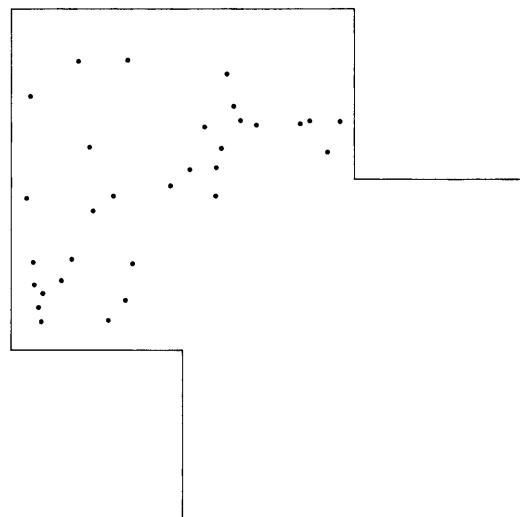


西壁土層図

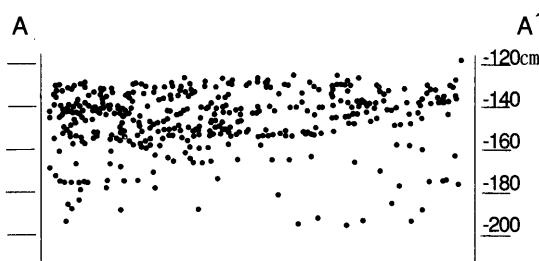
図17 ディン・カムフォー地点と第1トレンチ



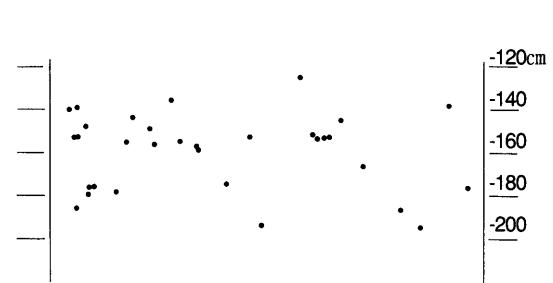
1. 遺物平面分布図



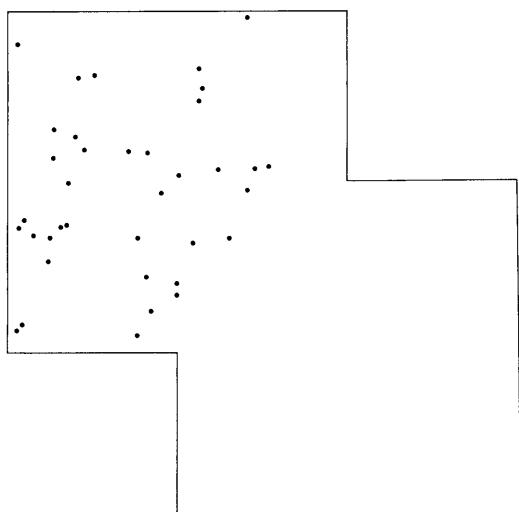
2. 景德鎮・平面分布図



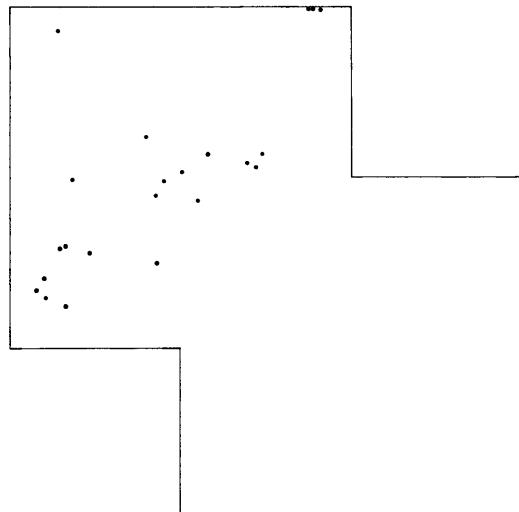
遺物垂直分布図



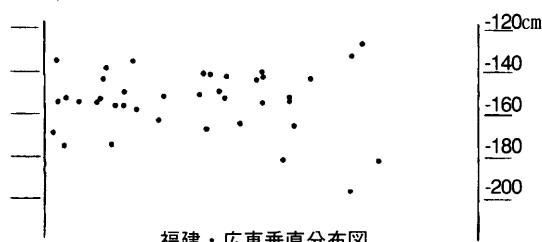
景德鎮・垂直分布図



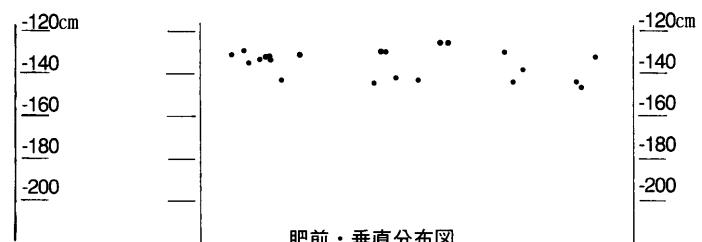
3. 福建・広東平面分布図



4. 肥前・平面分布図

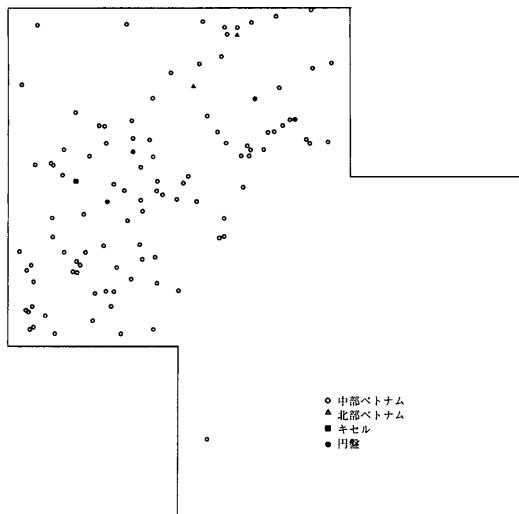


福建・広東垂直分布図

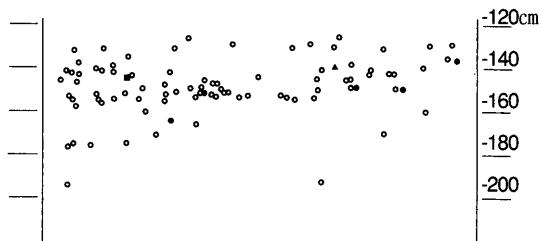


肥前・垂直分布図

図18 溝跡遺物出土状態



5. ベトナム・平面分布図



ベトナム・垂直分布図

図19 溝跡遺物出土状態

2号ピット：1号ピットと同じくⅧ層上面で確認し、1号ピットの南に位置する。方形を呈し、径18cm×16cmで、確認面からの深さは約30cmである。覆土はV層の土である。

このふたつのピットは掘立柱建物の柱穴と思われるが、近接しており、また形態も深さも違うため、別々の遺構と考えられる。覆土がともにV層であるため、19世紀のディン建設にかかわる作業小屋の柱穴の可能性が考えられる。

1号溝状遺構：トレンチの北西から南西方向にはしる。トレンチの東・西壁の土層から確認すると遺構はIX層から掘りこまれ、幅は1.1m~1.5mである。溝底の状態は水が湧き、はっきりと確認できなかったが、遺物の出土状態から判断して、深さは70cmほどである。覆土には、炭化物が多く含まれていた。遺構の年代は、溝内から16世紀末から17世紀前半の中国陶磁器が下層から中層にかけて分布し、17世紀後半の肥前磁器が上層のみ出土しているため、17世紀代である。溝の掘削時期は、おそらく17世紀初頭前後であり、この溝が完全に埋まってしまうのは17世紀後半頃であろう。

5 遺物出土状態 (図18- 1 ~ 4、図19- 5、写真図版 5)

溝から多量の遺物が出土した。遺物の取りあげにあたっては、極小破片以外は出土位置と深さを記録した。記録をし取りあげた溝出土の遺物破片数は、441点である。

遺物の分布は、図18- 1に示したように第1トレンチ拡張部の全面にひろがっている。これを垂直分布で示すと、下層では遺物がわずかに出土し、中層から上層にかけて多く出土していることがわかる。この遺物の平面分布と垂直分布を生産地別にわけたのが、図18・19- 2 ~ 5である。2は中国の景德鎮窯系の製品、3は中国福建・廣東窯系の製品、4は日本の肥前製品、5がベトナム製品の分布図である。

生産地別でみた遺物分布の特徴は、中国の景德鎮と福建・廣東の製品が溝の中層におもに分布し、下層や上層ではわずかしか出土していない。これに対して、肥前では下層から中層にかけてはまったく出土せず、上層だけで出土している点である。中国製品の生産地年代が16世紀末から17世紀前半で、肥前製品の生産地年代が17世紀後半であり、年代の相違が出土状態にも反映していることがわかる。一方、ベトナム製品は下層に少なく、中層から上層に多く分布していることがわかる。

(菊池誠一)

6 遺物 (図20~30、表 2 ~ 7、写真図版10~12)

出土遺物は、中国製陶磁器497（破片数、以下同）、日本製磁器104、ベトナム製陶磁器1064・レンガ31・瓦34、東南アジア製陶器2点、金属製装身具、銅錢、鉄製品等である。

(1) 溝跡出土遺物

中国製品は景德鎮窯、福建・廣東窯系の染付（青花）がほとんどの割合を占める。生産年代は16世紀後半から18世紀代までで、16世紀後半から17世紀代のものが中心となる。日本製品はすべて肥前窯系の磁器で、生産年代は1650年代から1670年代である。ベトナム製品は陶器がほとんどの割合を占める。報告するにあたって生産地と生産年代別に代表的な物を合計170点（個体数）図化した。

中国磁器（図20～23、表2・3）

1～29は1590年代から1640年代の景德鎮窯系の染付で、いずれも畳付が釉剥ぎされている。1～14・21は碗・鉢類である。1は高台部に鉋削りの痕が残る。外側には「萬」「長」の文様が残る。「萬福長命」文か。2は荒磯文（跳魚文）の碗で高台内に砂粒が付着している。3は高台部に鉋削りの痕が残る。また高台内に砂粒が付着している。4は外側が靈芝文と唐草文の部分のみが残存している。6は口縁部に虫食いが見られる。7は胴部の破片で、外側には点描で草文と思われる文様を描く。8は高台内に鉋削り痕が残る。高台部から胴部への立ち上がりはやや急である。10は外側に双魚文が描かれている。12・13・14は赤壁賦文の鉢で内面には花文帯が巡っている。12は見込みに「永樂年製」とおもわれる銘がある。21は内・外側面が区画文で窓内に宝文を描く。高台内に大粒の砂粒が付着している。

15～20は小碗・小杯類である。15は端反りの口縁である。17・18・19は高台内に「大明成化年製」の銘を描く。17は鹿を描いた見込みの部分のみ残存する。18は見込みが菖蒲文、外側面が菊文であり、双方とも花弁は暗赤褐色の釉裏紅で描かれる。菖蒲の発色は2.5YR2/4、菊の発色は2.5YR3/6で菖蒲のほうがやや暗く発色している。

22～27は皿で、高台内に鉋削りの痕が残る。22～24は名山手の皿で、23・24は高台内に砂粒が付着している。24は見込みにも径5mm程の砂粒の塊が数点付着している。25は寿字鳳凰文、26は日の字鳳凰文の皿で、高台内には砂粒が付着している。27は折縁の皿で、口縁部は輪花状を呈し虫食いが見られる。

28・29は袋物である。28は胴部に継ぎ目が見られ、高台畠付の露胎部は一部橙色を呈する。

30・31は1600年代から1640年代の景德鎮窯系の白磁小碗で、畠付は釉剥ぎされている。30は高台部に鉋削りの痕が残る。高台内のみ別に施釉されたようである。31は高台内に「大明成化年製」の銘を描く。

32～60は福建・廣東窯系の染付である。32～53は1590年代から1640年代の碗・鉢類である。32～37は漳州窯系の碗で、外側面には宝文の崩れ、口縁部には区画して花唐草文を描く。高台部まで残存している32・33の見込みには錢形花文を描く。33は高台内に砂粒が付着している。露胎部が橙色を呈する製品も見られる。38は漳州窯系の碗で赤壁賦文の文字部と思われる。露胎部は橙色を呈する。40は釉が緑がかり、呉須は流れたようになっている。41～43の釉は白く濁っている。43は高台部のみに釉が残存し、あとは剥落している。44は畠付の部分に粗穀痕が見られる。45は高台内に鉋削りの痕が残っており、高台の幅は場所により異なる。これは鉋で高台部を削り出す作業の途中で製品の中心がロクロの中心からはずれたためと思われる。46は漳州窯系の製品である。46・47は碗を打ち欠いて底部のみを意図的に残したもので、二次的に利用されたと思われる。このようなものはホイアン市街の各地点の遺跡からもよく出土するが、その用途は不明である。49・50・52・53は漳州窯系の鉢である。49は高台の外側に砂粒が付着し、畠付から内側にかけては粗穀痕が見られる。釉は白く濁り、ピンホールが多く見られる。52・53は鉢を打ち欠いて底部のみを意図的に残したもので、二次的に利用されたと思われる。53は荒磯文の碗である。

54は1610年代から1650年代の漳州窯系の小碗で、端反り気味の口縁である。

55～58は1590年代から1640年代の皿である。55は漳州窯系の青海波文の折縁皿である。56は高台内に砂粒が付着している。呉須はやや滲んでいる。57は漳州窯系の製品で、高台脇から高台内にかけて大粒の砂粒が

付着している。胎土は明青灰色を呈する。58は漳州窯系の日の字鳳凰文の皿で高台脇から高台内にかけて粉殻痕が見られる。

59・60は1590年代から1640年代の色絵である。上絵は剥落している。59は漳州窯系の皿である。60は碗である。

肥前磁器 (図23・24、表3)

61~78は肥前窯系の染付である。61~65は1655年代から1670年代の碗で畳付は釉剥ぎされている。61は荒磯文の可能性がある。62~64は荒磯文の碗である。64は高台部から胴部への立ち上がりがやや急である。畳付付近に砂粒が付着している。

66は1660年代から1670年代の小碗で畳付は釉剥ぎされている。高台内に「宣明」の文字が残る。「宣明年製」か。

67~76は1650年代の日の字鳳凰文の皿である。73以外は畠付が釉剥ぎされている。畠付の内側には砂粒が付着している。77は1650年代の皿で、畠付は釉剥ぎされている。畠付付近には砂粒が付着している。78は1640年代から1660年代の蓋で内面は無釉である。

ベトナム焼締陶器・土器 (図25~29、表5・6)

79~164はベトナム産の陶器である。79~103は長胴瓶で中部産の製品であるI類とII類がほとんどの割合を占める。ロクロを用いて成形しており、内面に残るロクロ目からロクロは時計回りである。胎土は層状(縞状)もしくはマーブル状を呈するものが半数近くを占め、79は口縁部に、83・85は肩部に色調が変化するところが見られる。底部外側面には指によるナデ調整痕が見られる。ただし、90の底部外側面は無調整である。84は外側面の一部に自然釉が付着している。95は内面に縦方向のナデ調整痕が見られる。96~101はII類で平行波状文が施文されている。波状文は96が5本、97が3本、98が7本、99が7本、100が5本、101が4本で1単位である。102・103はVII類で、他に出土例がない。102は緩やかな波状文と思われる縦描文が施される。

104は壺・瓶V類で線条文が施されている。105は壺・瓶II類で凸帯と退化した平行波状文が施されている。

106~109は大形の鉢I類で線条文が施されている。110は大形の鉢III類である。

111は鉢III類で口縁部に色調が変化するところが見られる。112~125は鉢II類で線条文鉢である。115は底部外側面に123・124・125は肩部から胴部にかけての外側面にススが付着しているため、調理道具として使われた可能性がある。117は内部に暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)の自然釉が付着している。126・127は鉢IV類である。128・129は鉢I類の底部片で、共に外側面にススが付着している。

130~132は浅鉢のI類で、底部外側面は回転箝削りで仕上げられている。

133は大形鉢である。134~136は大形鉢I類で、平行波状文が施されている。波状文は134は5本、135は4本、136は6本で1単位である。胎土は層状もしくはマーブル状を呈する。134は口縁部に色調が変化するところがある。

137~150は陶製の蓋である。137~139・144・147はI類で、つまみ部の根本には指で押された痕が多数見られる。144の一部には自然釉が付着している。

151~160は陶製円盤である。151・156・157は線条文鉢の胴部付近を、152~155・159・160は長胴瓶の胴部付近を、158は土器の一部を再利用した円盤で、打ち欠いて円形にしている。

161は器種は不明である。容器の口縁部と思われる。

162~164は陶製の煙管の雁首部分である。

タイ製品、その他 (図29、表6・7)

165・166タイ産の土器で表面には叩き目文が施される。

167～169は銅錢である。小破片で鏽が付着していることから、銘は不明である。

170は鉄製品で鎧の破片であると思われる。全面鏽で覆われているため正確な形状は不明である。

(2) 遺構外出土遺物 (図30・表3・4・7)

171～190は遺構外の遺物である。代表的な物を合計20点（個体数）図化した。

171は景德鎮窯系の染付で、1590年代から1630年代の碗である。172は景德鎮窯系の白磁で17世紀代の皿である。文様は籠で彫り込んでいる。

173～177は福建・広東窯系の製品である。173は20世紀代の色絵碗で、「福」と花文は赤色で、圈線は金色で描かれている。型作りで、上絵はゴム印で施文されている。174・175は17世紀後半から18世紀代の染付皿である。174は型作りの製品である。176は18世紀代の徳化窯系の染付小碗で、口ハゲ、型作りの製品である。177は17世紀後半～18世紀代の徳化窯系の鉄釉の小瓶で、型作りの製品である。外側面のみの施釉で、内面底部には指頭痕が残る。

178・179は肥前窯系の染付で1650年代から1670年代の製品である。178は鉢で、179は小碗である。

180～182はベトナム産の染付である。180は19世紀後半から20世紀代の碗で、型紙摺で施文している。181は19世紀後半から20世紀代の折縁皿で、銅板転写によりヨーロッパ風の文様を施している。182は20世紀代の碗である。

183・184はベトナム産の陶器である。183は長胴瓶で、184は壺である。ともに小形の製品であろう。

185は「明命通宝」の銘をもつ銅錢である。

186～188は金属製品である。186はかんざしと思われる。空玉をつけた棒と湾曲された板からなる。板には鳥と草花の絵が浮き彫りになっている。空玉には胴部に接合の痕が見られる。187・188は角釘と思われる。

189・190は弾丸である。190の底部には「M1 4 F 2」の文字が刻まれている。

なお、生産地別・時期別組成に関しては、第7章第1節 (P.177～181) を参照されたい。

(阿部百里子)

第3節 ディン・カムフォー第1トレンチ (DINH CAM PHO - 1)

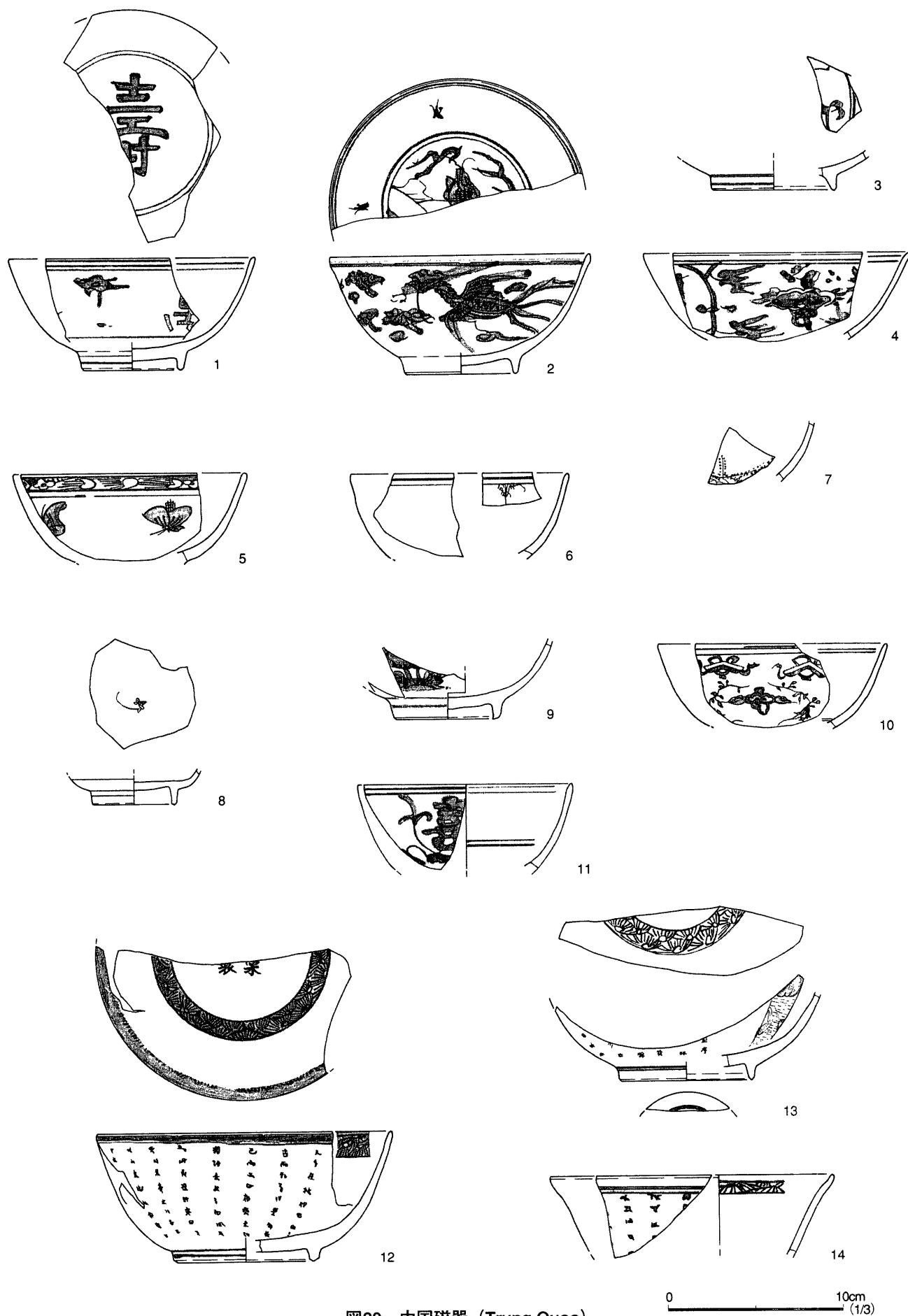


図20 中国磁器 (Trung Quoc)

0 10cm (1/3)

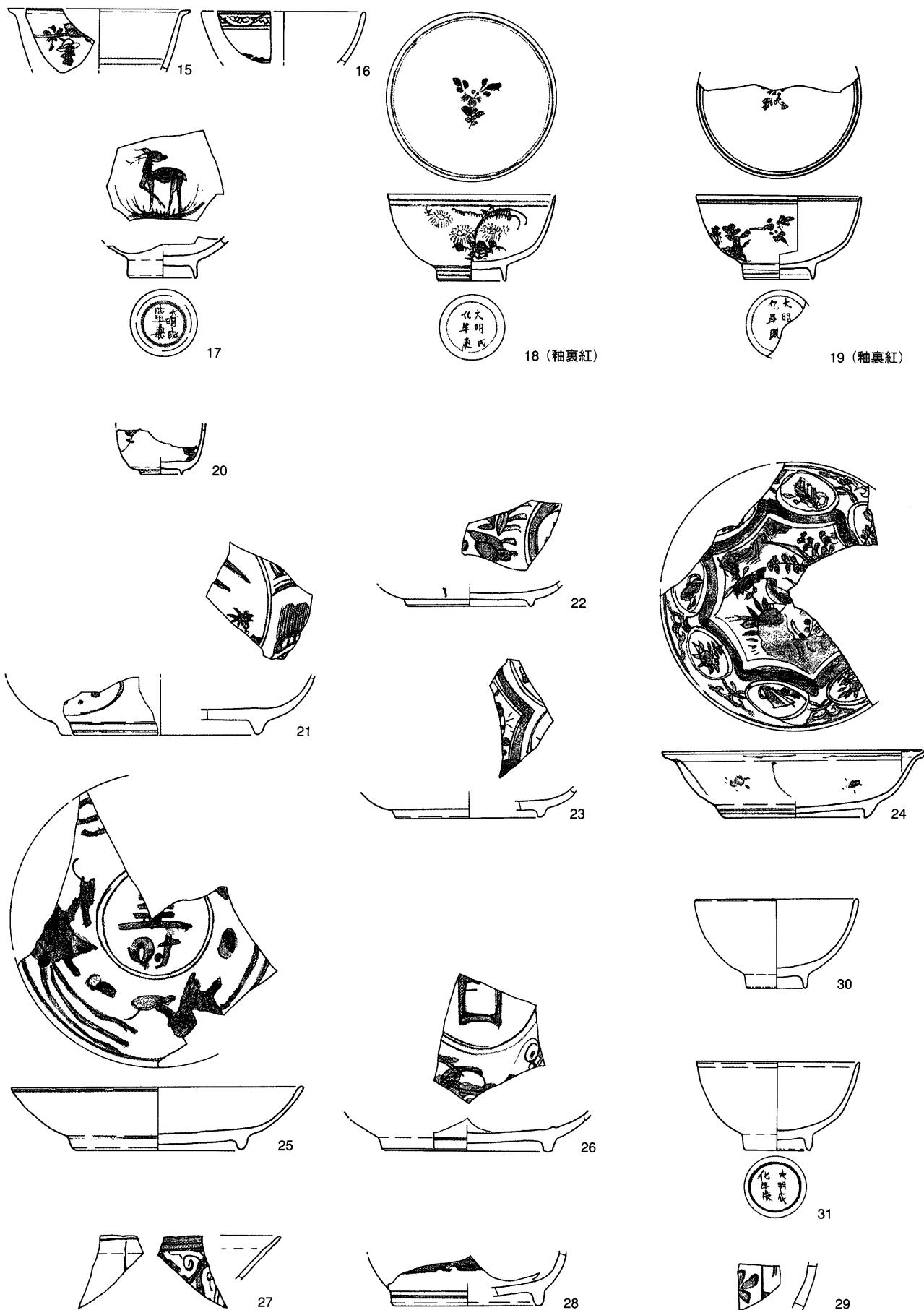


図21 中国磁器 (Trung Quoc)

第3節 ディン・カムフォー第1トレント (DINH CAM PHO - 1)

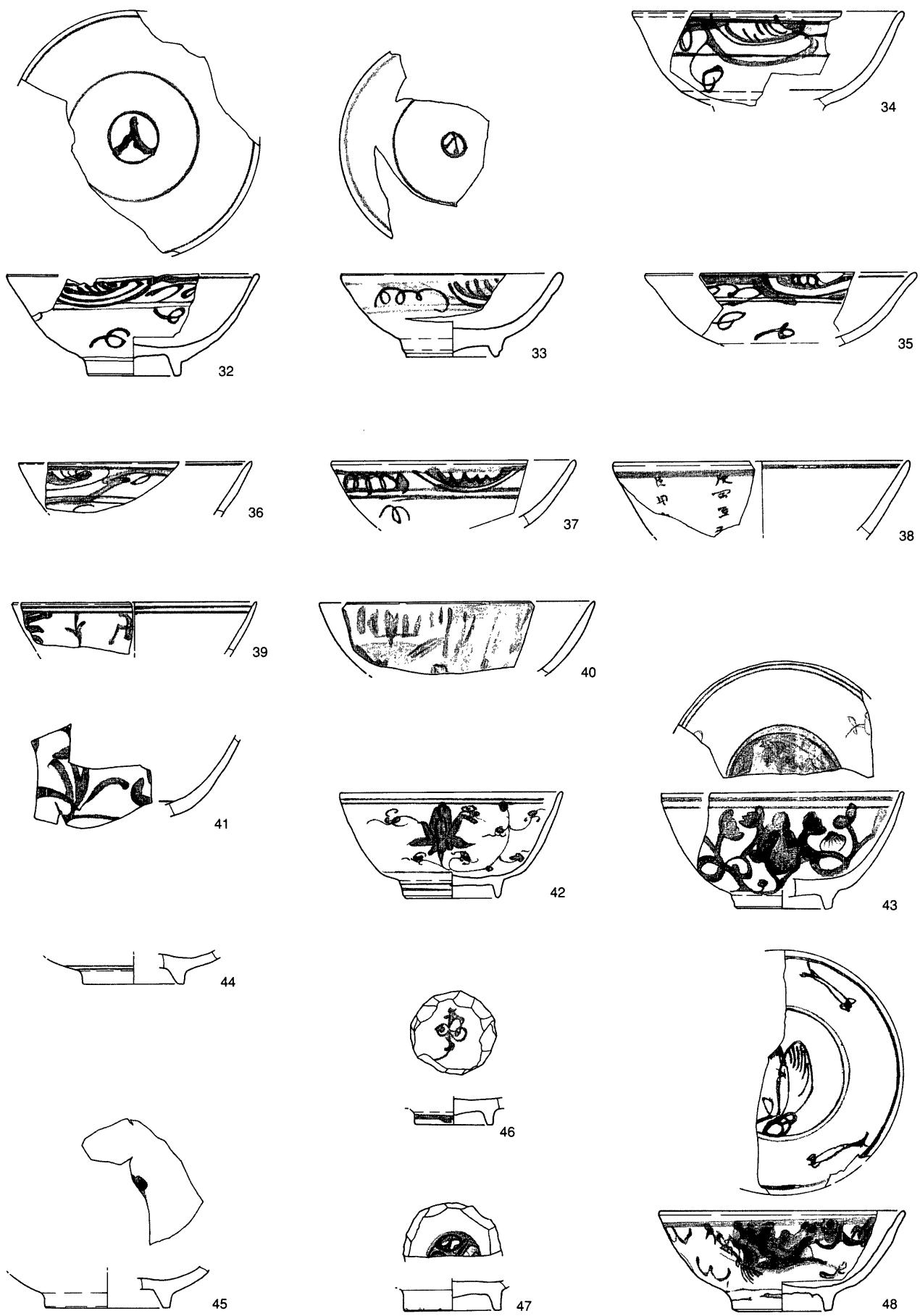


図22 中国磁器 (Trung Quoc)

0 10cm
(1/3)

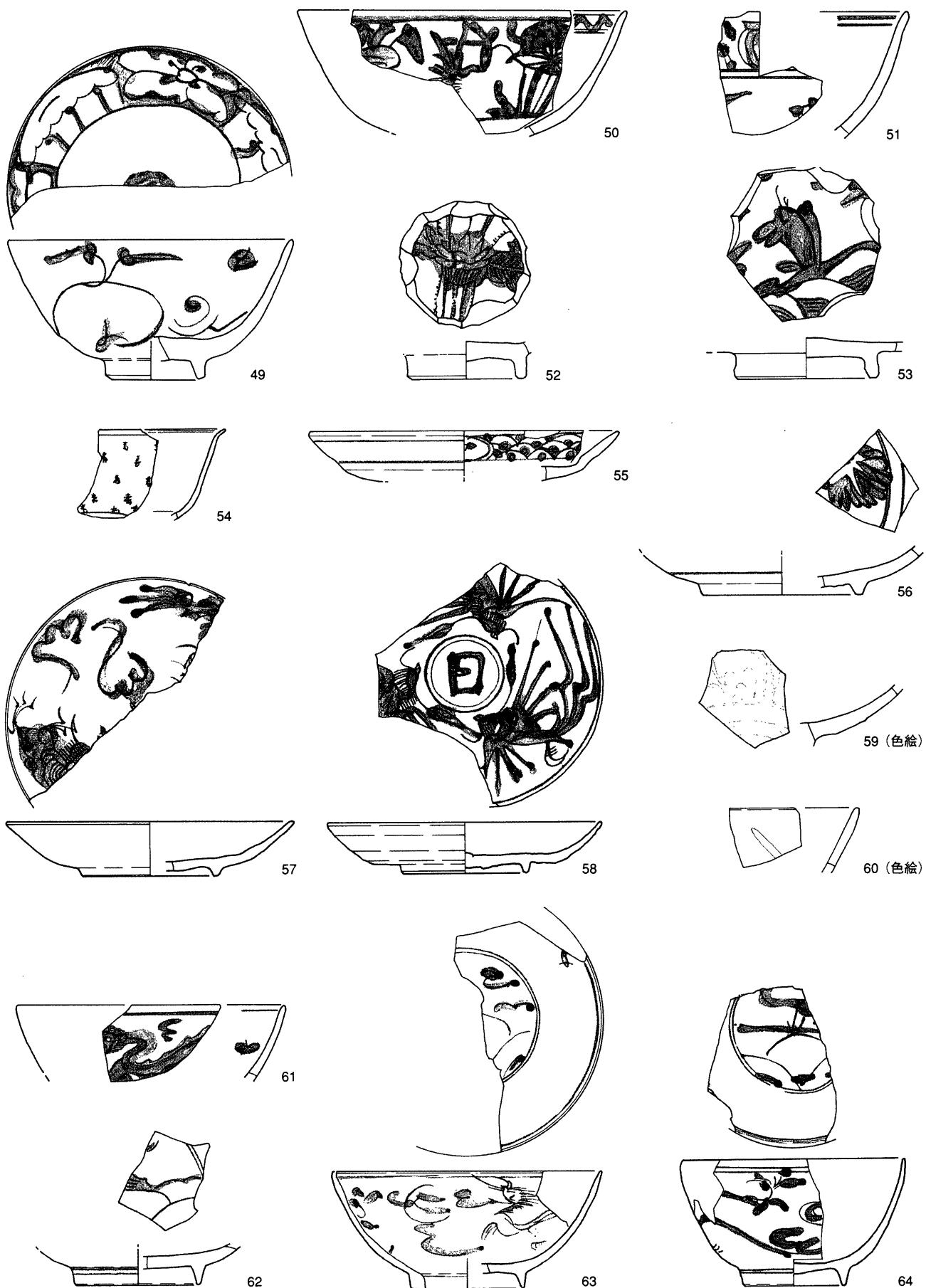


図23 中国磁器 (Trung Quoc、No.49~60)、肥前磁器 (Hizen、No.61~64)

第3節 ディン・カムフォー第1トレーニ (DINH CAM PHO - 1)

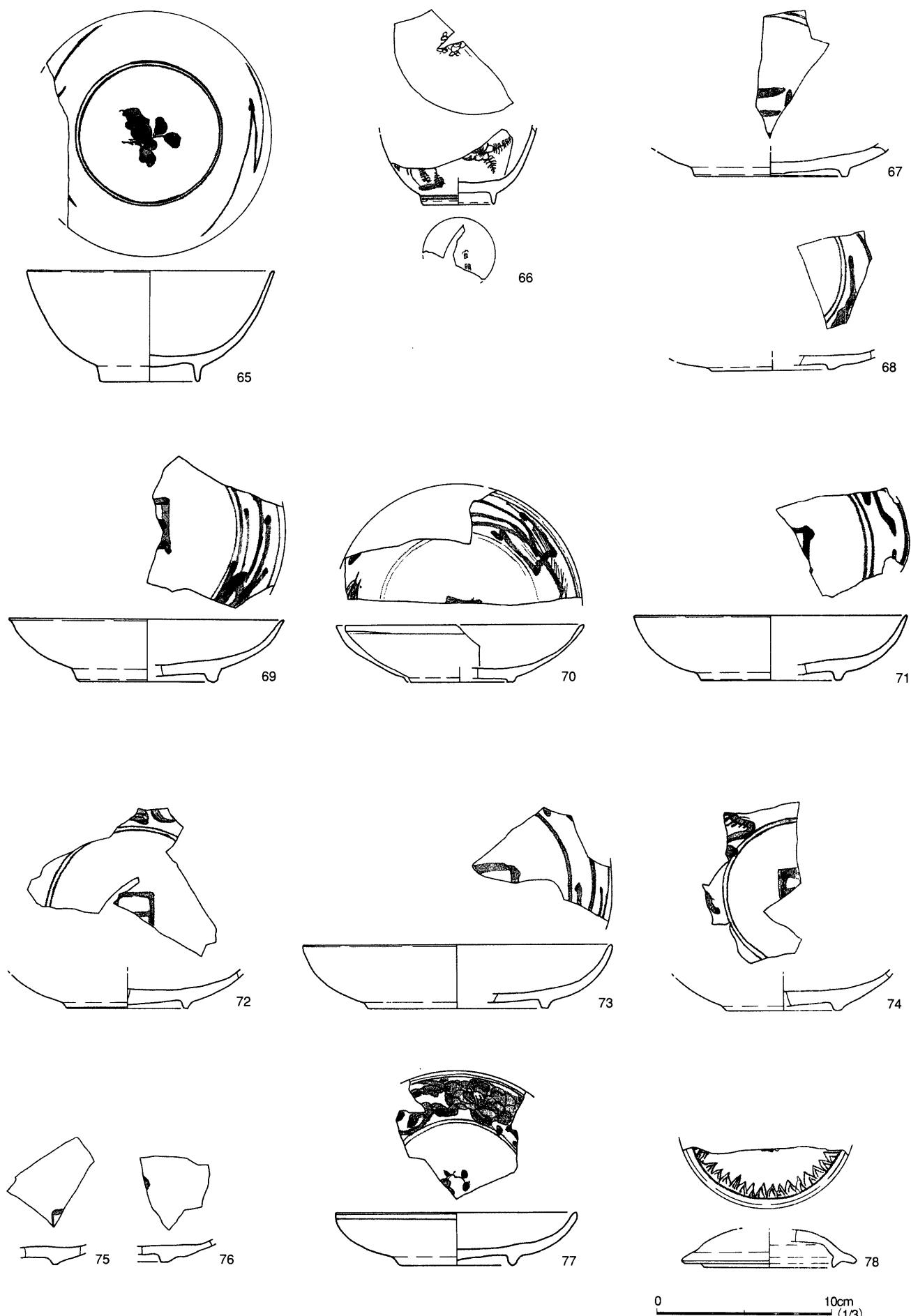


図24 肥前磁器 (Hizen)

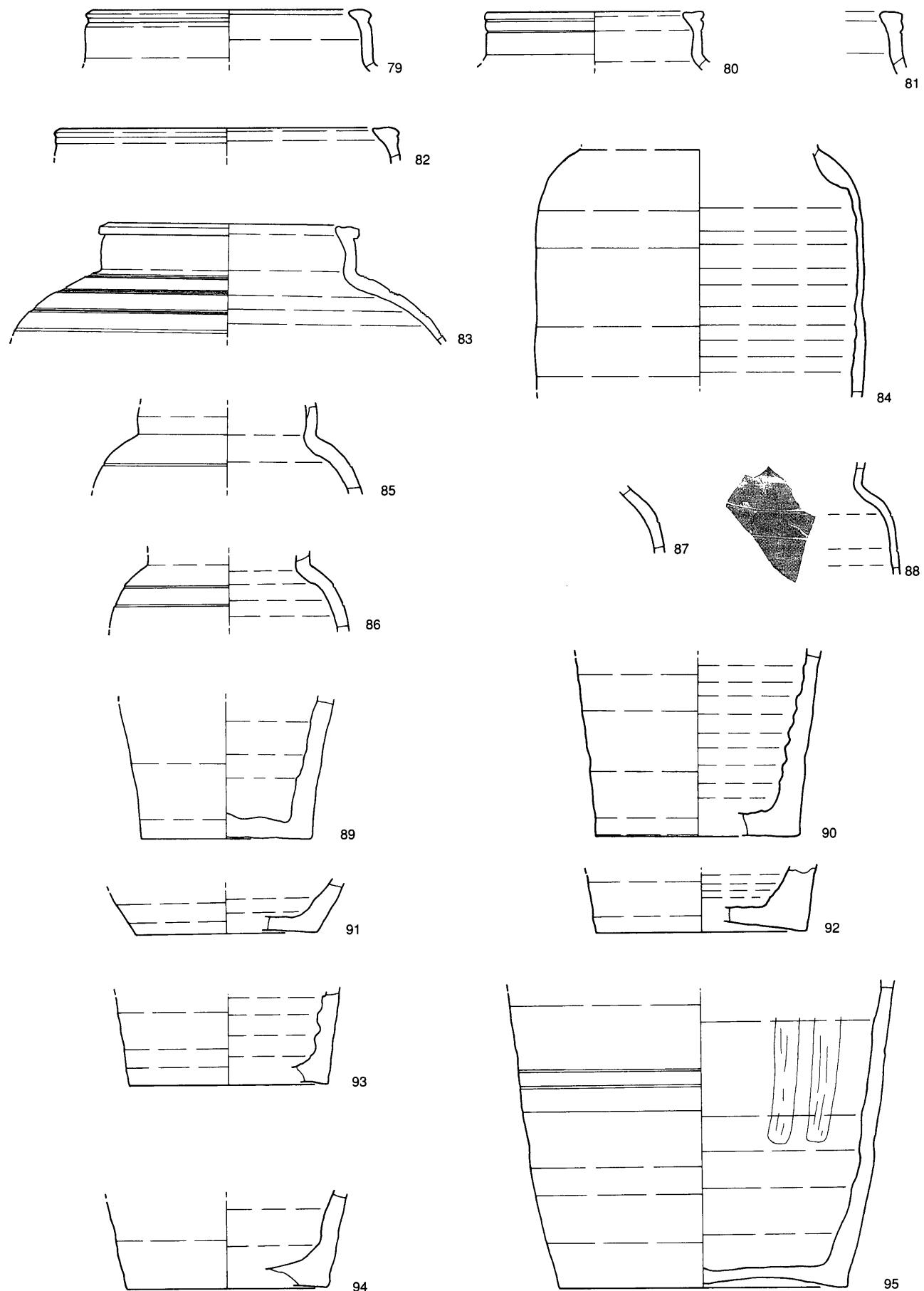


図25 ベトナム陶器 (Vietnam)

第3節 ディン・カムフォー第1トレンチ (DINH CAM PHO - 1)

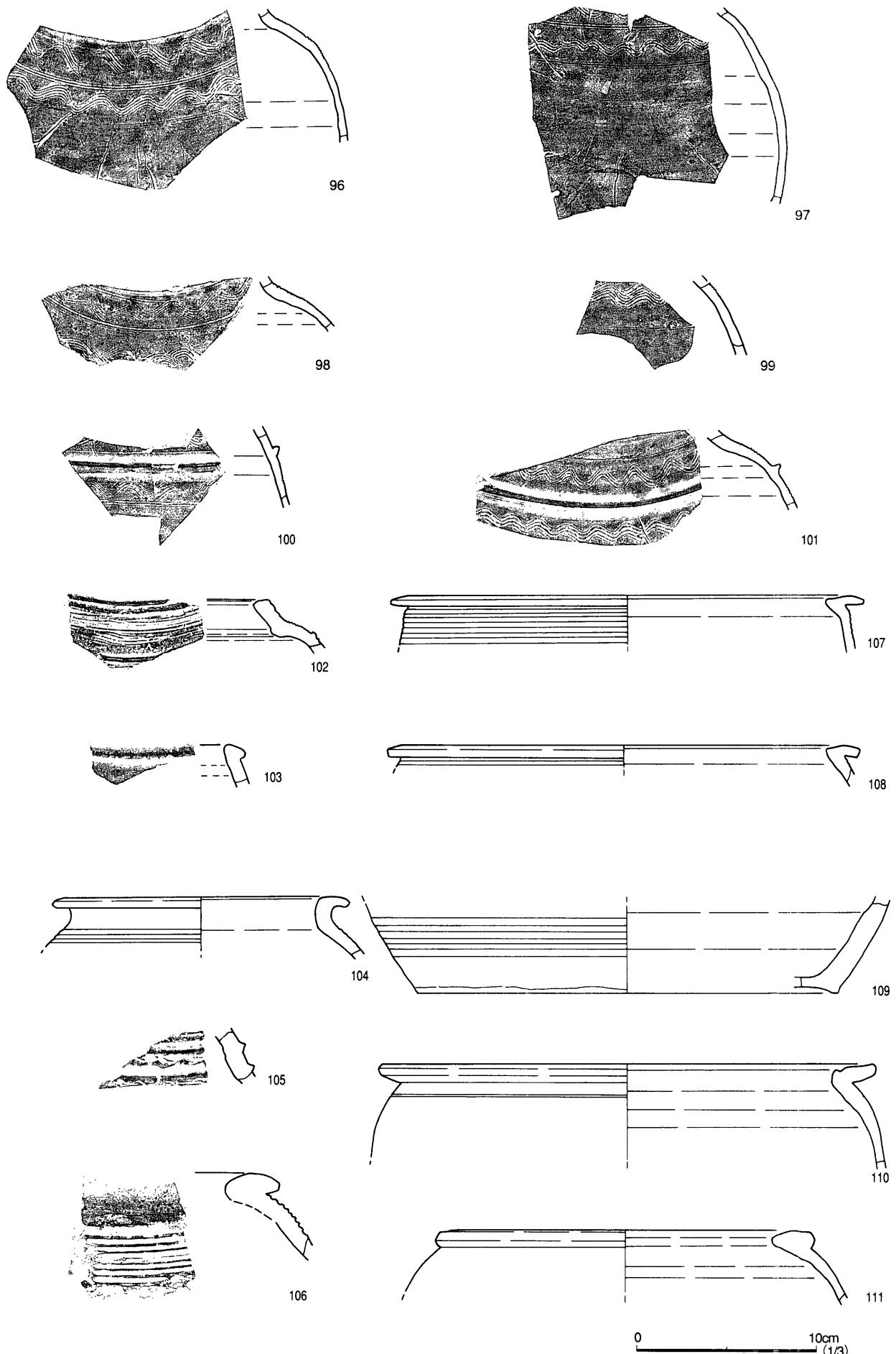


図26 ベトナム陶器 (Vietnam)

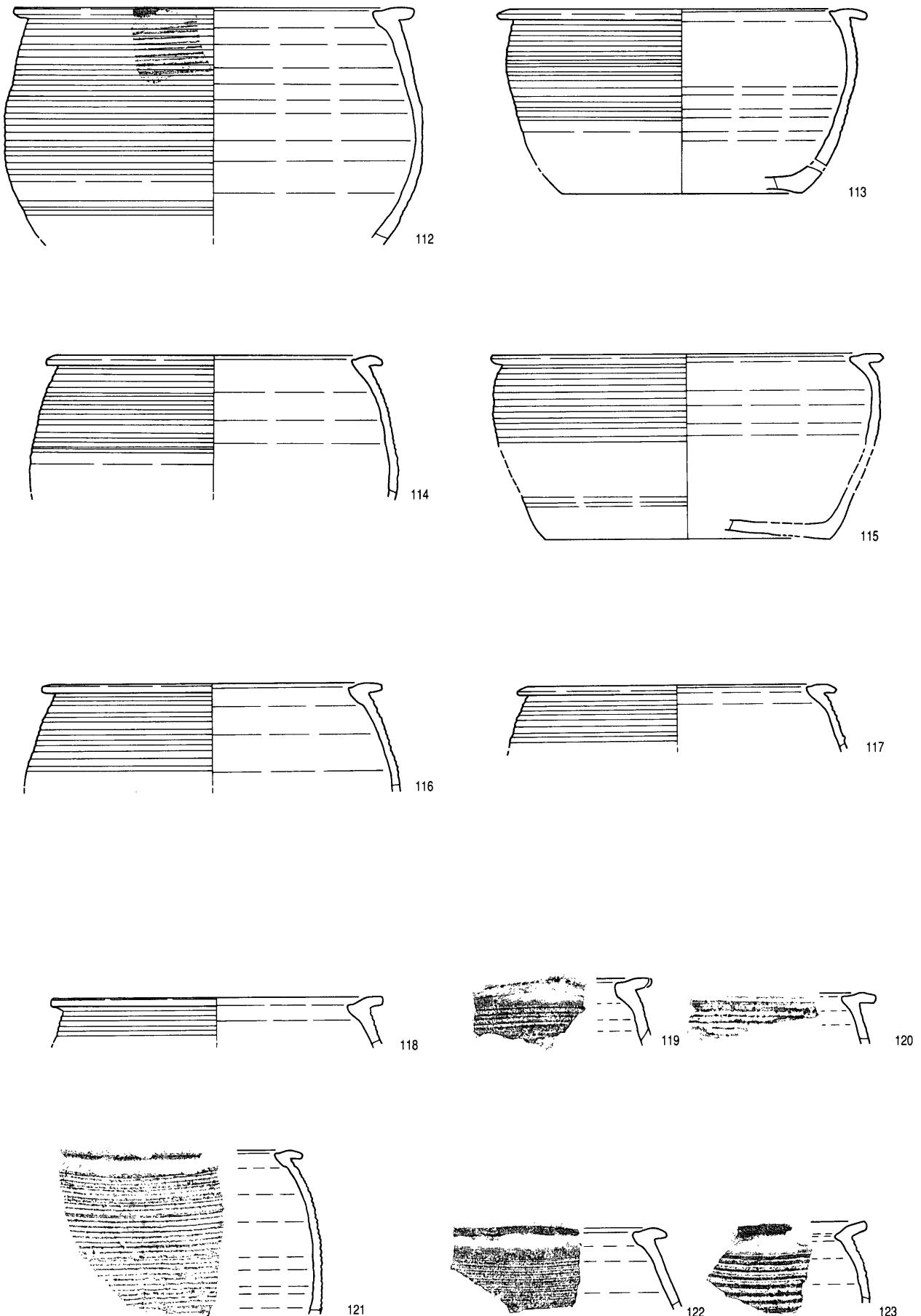


図27 ベトナム陶器 (Vietnam)

第3節 ディン・カムフォー第1トレント (DINH CAM PHO - 1)

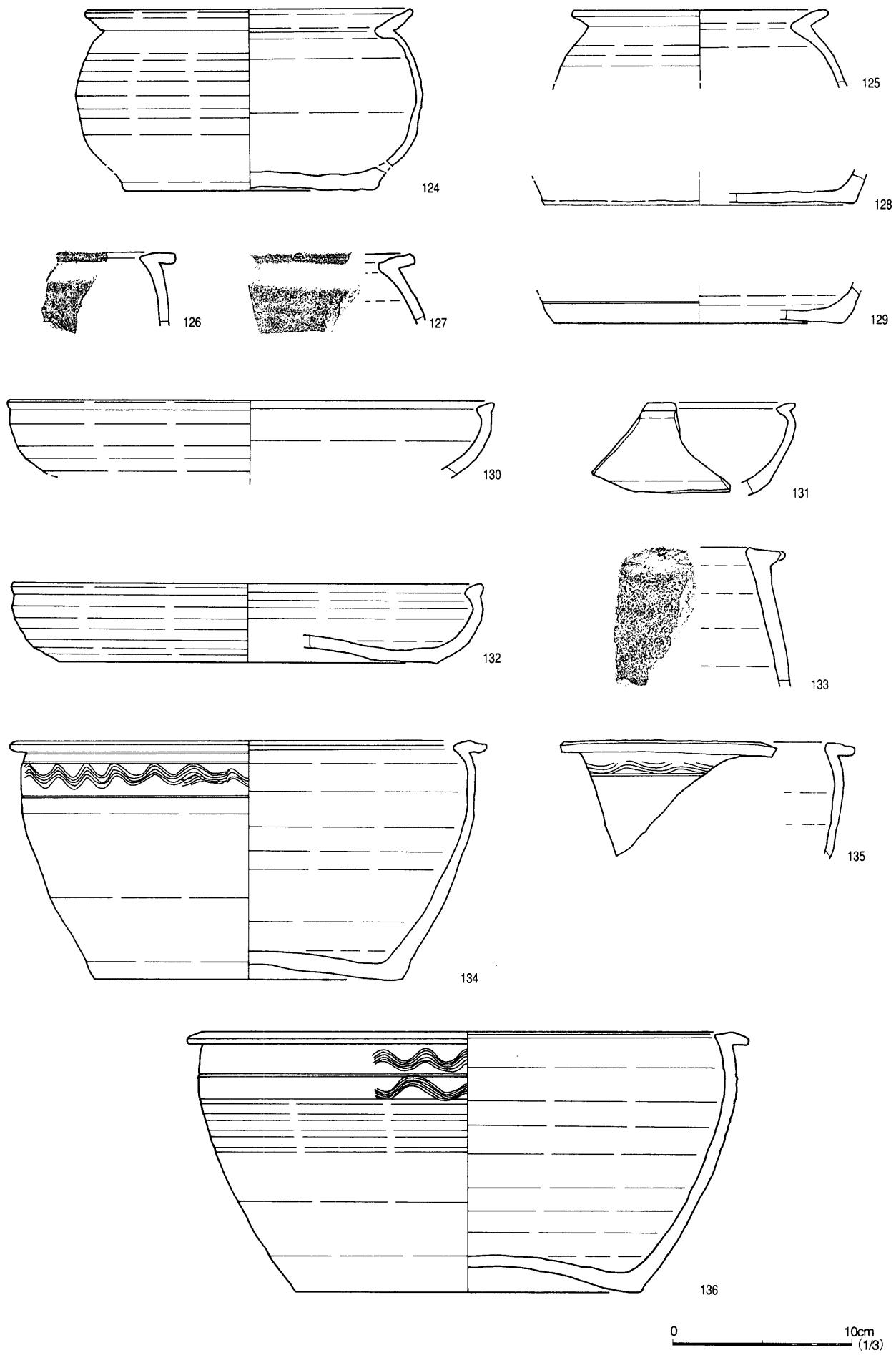


図28 ベトナム陶器 (Vietnam)

0 10cm
(1/3)

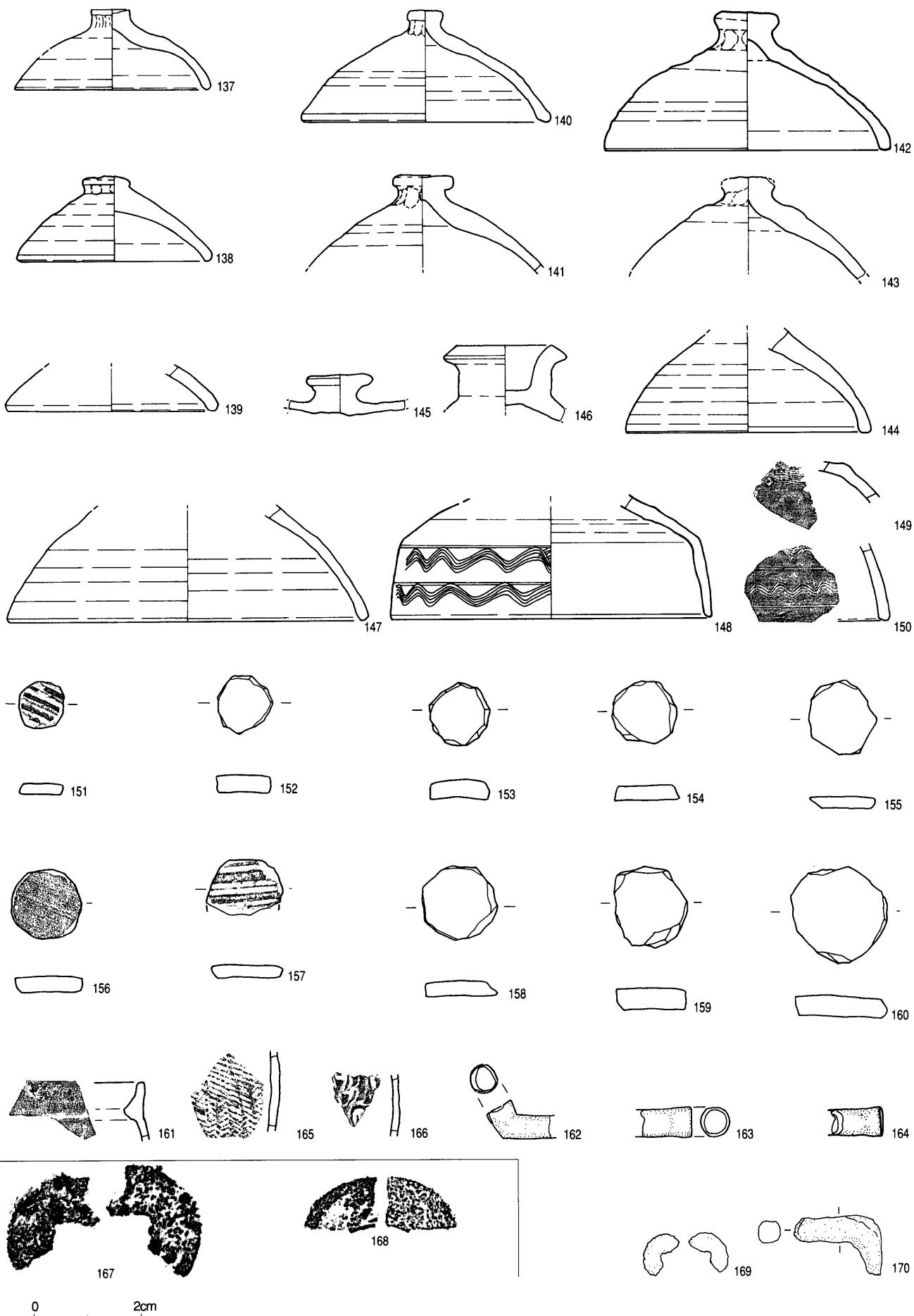


図29 ベトナム陶器他 (Vietnam)、タイ陶器 (Thai land No.165、166)

第3節 ディン・カムフォー第1トレント (DINH CAM PHO - 1)

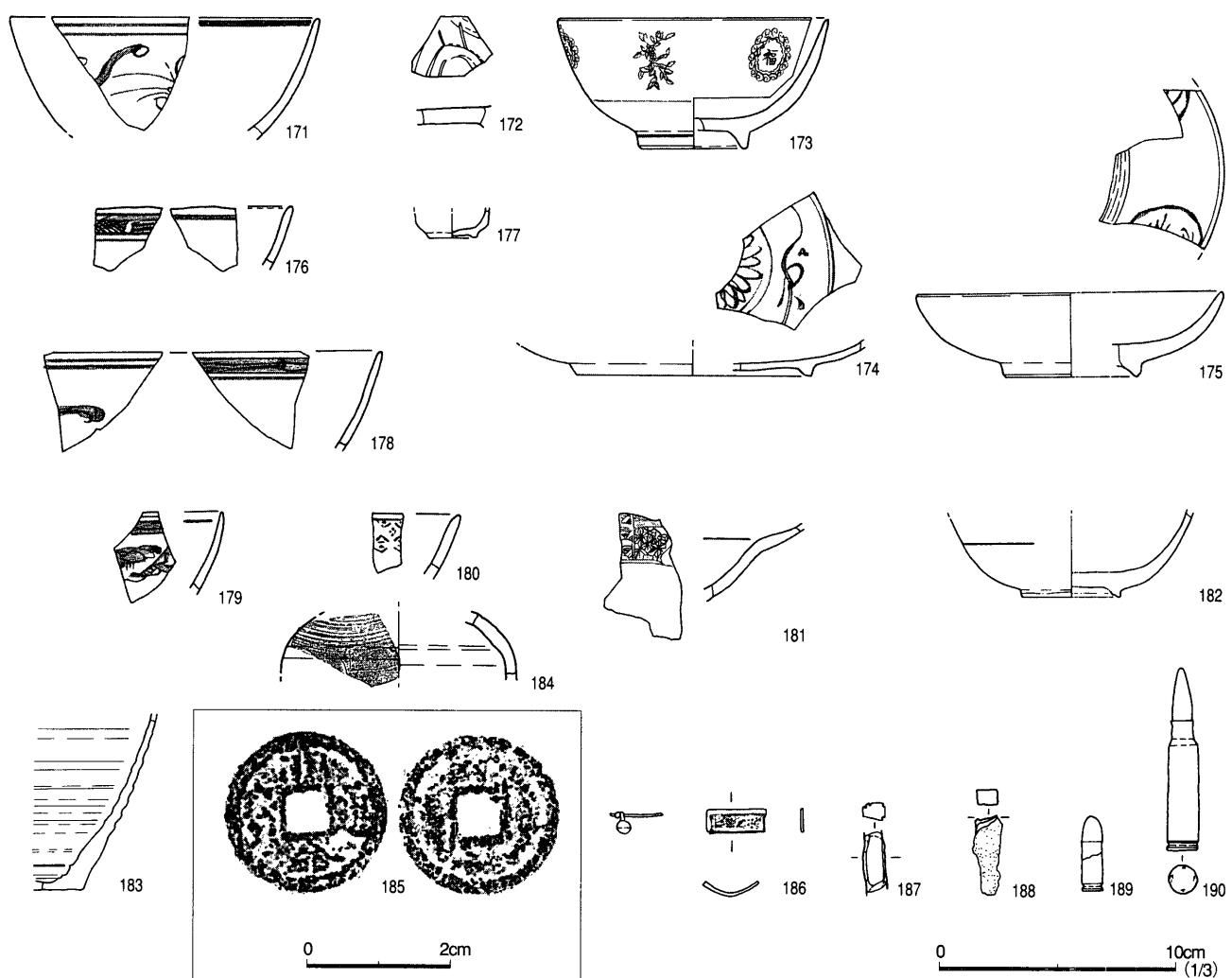


図30 遺構外出土遺物

第5章 ホイアン旧市街地の発掘調査

No.	産地	器種	外側	見込み	内側	高台内	年代	釉調	焼成	化粧	付着物	a	b	c	d	残存	備考
001	景德鎮	染付碗	「萬」・「長」 〔萬福長命?〕	「寿」	圈線	施釉	1590~ 1630年代	薄青灰 呉須やや暗	良好	□		13.8	6.3	5.8		1/2	
002	景德鎮	染付碗	鳳凰文・ 靈芝雲文	荒磯文	魚文	施釉	1590~ 1630年代	薄青 呉須明	良好	□	砂粒	14.6	6.7	6.4		1/2	
003	景德鎮	染付碗	圈線	荒磯文?			1590~ 1630年代	薄青 呉須やや薄	良好	□	砂粒			7.0		底部1/4	
004	景德鎮	染付碗	靈芝文・唐草 文		圈線		1590~ 1630年代	薄青 呉須一部暗	良好	□		14.9				1/4	
005	景德鎮	染付碗	蝶文・花唐草 文				1590~ 1630年代	薄青 呉須やや暗	良好	□		13.1				1/4	
006	景德鎮	染付碗	竹文・圈線				1590~ 1630年代	薄青 呉須薄	良好	□		12.3				1/6	口縁虫食い
007	景德鎮	染付碗	点描の草文?				1590~ 1630年代	呉須やや薄	良好	□						破片	
008	景德鎮	染付碗	圈線	靈芝文		施釉	1590~ 1630年代	薄青 呉須やや暗	良好	□				4.8		底部	
009	景德鎮	染付碗	蓮文?			施釉	1590~ 1630年代	呉須明	良好	□				5.8		底部片	
010	景德鎮	染付碗	靈芝文・宝 文・双魚文		圈線		1600~ 1640年代		良好	□		12.9				1/6	
011	景德鎮?	染付碗	喜・唐草文		圈線		1590~ 1640年代	薄青灰白 呉須やや暗	良好	□		12.0				口縁部片	
012	景德鎮	染付鉢	赤壁賦文	花文帶・ 「永樂年製」?	花文帶	施釉	1600~ 1630年代	薄青 呉須暗	良好	□	一部砂粒	16.6	7.3	8.1		1/2	
013	景德鎮	染付鉢	赤壁賦文	花文帶		圈線 施 釉	1600~ 1630年代	薄青 呉須やや暗	良好	□				7.3		1/6	
014	景德鎮	染付鉢	赤壁賦文		花文帶		1600~ 1630年代	薄青 呉須やや暗	良好	□		16.0				破片	口縁部虫食い
015	景德鎮	染付小 碗	草花文		圈線		1590~ 1630年代	薄青	良好	□		10.0				1/7	口縁端反り
016	景德鎮	染付小 碗	唐草文				1590~ 1640年代	薄青 呉須やや暗	良好	□		9.0				口縁部片	
017	景德鎮	染付小 碗		鹿文		施釉 「大明成 化年製」	1590~ 1640年代		良好	□				3.6		底部	
018	景德鎮	染付小 碗	竹文・菊文	草花文		施釉 「大明成 化年製」	1600~ 1640年代	薄青 呉須明 花文釉裏紅	良好	□		9.0	4.7	3.6		完形	
019	景德鎮	染付小 碗	菊文・竹文・ 草花文	草花文	圈線	施釉 「大明○ 化年製」	1600~ 1640年代	呉須明 花文釉裏紅	良好	□		9.1	4.5	3.8		1/2	
020	景德鎮	染付小 环	花卉文			施釉	1590~ 1640年代	薄青 呉須明	良好	□				2.2		4/5	
021	景德鎮	染付鉢	区画文・窓内 宝文	文様有	区画文・ 窓内宝文	施釉	1590~ 1630年代	薄青 呉須明	良好	□	砂粒			11.0		底部1/6	
022	景德鎮	染付皿	区画線	文様有	窓内に宝文 (名山手)	施釉	1590~ 1640年代	薄青 呉須やや暗	良好	□				7.0		底部片	
023	景德鎮	染付皿	区画線	文様有	窓内に宝文 (名山手)	施釉	1600~ 1630年代	薄青 呉須薄	良好	□	やや 大砂粒			8.2		破片	
024	景德鎮	染付皿	宝文・区画線	花鳥文	窓内に宝文 (名山手)	施釉	1590~ 1630年代	薄青 呉須内面はや や明・外面は やや暗	良好	□	砂粒	14.5	3.7	8.1		2/3	
025	景德鎮	染付皿	圈線	寿字鳳凰文		施釉	1600~ 1640年代	薄青 呉須暗貫入有	良好	□	砂粒	15.9	3.5	9.3		2/3	
026	景德鎮	染付皿	圈線	日の字鳳凰文		無釉	1600~ 1640年代	薄青	良好	□				8.8		底部1/4	
027	景德鎮	染付皿	区画文		窓内にチュー リップ文 (美 芙蓉手)		1630~ 1640年代	薄青 呉須部分の暗	良好	□						破片	折縁皿 輪花 口縁部虫食い
028	景德鎮	染付袋 物	文様有		施釉	1590~ 1640年代	薄青 呉須薄	良好	□					8.3		底部1/2	胴部に縦目あ り 露胎部橙 色
029	景德鎮	染付袋 物	区画と花卉文 (芙蓉手)		施釉		1590~ 1640年代	薄青 呉須薄	良好	□						破片	
030	景德鎮	白磁小 碗				施釉	1600~ 1640年代		良好	□		8.9	4.9	3.4		1/2	
031	景德鎮	白磁小 碗				施釉	1600~ 1640年代		良好	□		8.9	4.8	3.8		2/3	
032	漳州	染付碗	宝文の崩れ 口縁は区画し て花唐草文	錢形花文		無釉	1590~ 1640年代	薄青	普通	☑		13.6	5.6	5.1		1/2	胎土浅黄橙色
033	漳州	染付碗	宝文の崩れ 口縁は区画し て花唐草文	錢形花文	圈線	無釉	1590~ 1640年代	薄青 呉須暗貫入有	普通	☑	砂粒	12.0	4.5	5.4		1/3	胎土鈍橙色
034	漳州	染付碗	宝文の崩れ 口縁は区画し て花唐草文		圈線		1590~ 1640年代	灰白 呉須暗	普通	☑		14.8				破片	胎土鈍褐色
035	漳州	染付碗	宝文の崩れ 口縁は区画し て花唐草文		圈線		1590~ 1640年代	薄青やや白濁 呉須やや暗	良好	☑		14.7				1/6	
036	漳州	染付碗	宝文の崩れ 口縁は区画し て花唐草文				1590~ 1640年代	薄青灰白 呉須明	良好	□		12.6				破片	化粧掛け?
037	漳州	染付碗	宝文の崩れ 口縁は区画し て花唐草文				1590~ 1640年代	呉須暗 貫入有	良好	☑		13.2				1/6	
038	漳州	染付碗	赤壁賦文?		圈線		1590~ 1640年代	薄青 貫入有	普通	☑		16.2				口縁部片	胎土橙色
039	福建?	染付碗	喜・唐草文		圈線		1590~ 1640年代	薄青	普通	□		13.2				口縁部片	

表2 遺物観察表

第3節 ディン・カムフォー第1トレンチ (DINH CAM PHO - 1)

No.	产地	器種	外側	見込み	内側	高台内	年代	釉調	焼成	化粧	付着物	a	b	c	d	残存	備考
040	福建・ 広東	染付碗	文様有				1590～ 1640年代	緑味の灰白 貫入有	良好	□		14.9				1/8	
041	福建・ 広東	染付碗	草花?	圈線			1590～ 1640年代	白濁 贯入有	不良	□						1/6	
042	福建・ 広東	染付碗	蓮唐草文			1/3施釉	1590～ 1640年代	やや白濁 貫入有	普通	□		12.0	5.7	5.4		2/3	露胎部橙色
043	福建・ 広東	染付碗	花唐草文	梅樹文?	花卉文	無釉	1590～ 1630年代	薄青白濁	不良	□		13.2	6.3	5.3		1/2	高台部のみ釉 残存
044	福建・ 広東	染付碗	圈線			無釉	1590～ 1640年代	灰白 呉須薄 贯入 有	良好	☑	初殻			5.4		底部1/6	
045	福建・ 広東	染付碗?	鉢?	文様有		無釉	1590～ 1640年代	オリーブ灰 貫入有	不良	□				6.7		1/5	胎土浅黄橙色 露胎部橙色
046	漳州	染付碗	圈線	花卉文		1/2無釉	1590～ 1630年代	薄青 贯入有	普通	□				4.2		高台のみ 底部のみ再利 用?	
047	福建・ 広東	染付碗		草花文?		施釉	1590～ 1630年代	薄青 呉須やや暗	良好	□	粗砂			5.2		底部1/2	底部のみ再利 用?
048	福建・ 広東	染付碗	龍文	柳文	魚文	無釉	1600～ 1640年代	薄青 呉須暗綠青色	良好	□		13.4	5.5	5.4		1/2	高台部露胎 胎土灰色
049	漳州	染付鉢	唐草文	文様有	蓮の葉文・花 文	無釉	1590～ 1640年代	やや白濁 呉須暗	普通	□	砂粒・ 初殻痕	15.8	7.7	5.5		1/2	
050	漳州	染付鉢	蓮文		唐草文		1590～ 1630年代	灰白 呉須暗	良好	□		18.2				1/8	
051	福建	染付鉢	文様有		圈線		1590～ 1640年代	薄青 贯入有	良好	□						口縁部片	
052	漳州	染付鉢		蓮文		ほぼ施釉	1590～ 1630年代	灰白	良好	□				6.6		1/5	底部のみ再利 用?露胎部橙 色
053	漳州	染付鉢		荒磯文		一部無釉	1590～ 1630年代	薄青 呉須暗 贯入 有	良好	□	初殻痕			7.9		底部	露胎部橙色
054	漳州	染付小 碗	「寿」		圈線		1610～ 1650年代	薄青	良好	□						破片	
055	漳州	染付皿	圈線	青海波文・窓 絵			1590～ 1630年代	呉須やや暗 貫入有	普通	☑		17.2				口縁部片	折縁皿
056	福建・ 広東	染付皿	圈線	草花文		施釉	1590～ 1640年代	やや黃味の灰 白呉須暗 貫 入有	普通	□	砂粒			8.8		1/6	
057	漳州	染付皿		龍雲文・鳳凰 文		一部施釉	1600～ 1640年代	薄青 呉須やや暗青 灰色	普通	☑	0.7～2.0 mm程の大砂粒	16.0	3.0	7.5		1/2	胎土明青灰色
058	漳州	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1600～ 1640年代	薄青 呉須やや暗	良好	□	粉殻痕	15.2	2.8	7.0		2/3	
059	漳州	色絵皿		色絵 草花文・圈線			1590～ 1640年代	緑味の灰白 上絵剥落	良好	☑	粉殻付 着痕					破片	
060	福建・ 広東	色絵碗		色絵?			1590～ 1640年代	薄青灰白 上絵剥落?	良好	☑						口縁部片	
061	肥前	染付碗	雲龍文		魚文		1655～ 1670年代	薄青 呉須やや暗 貫入有	良好	□		14.9				破片	
062	肥前	染付碗	圈線	荒磯文		施釉	1655～ 1670年代	薄青 贯入有	良好	□				7.1		底部1/4	
063	肥前	染付碗	雲龍文	荒磯文		施釉	1655～ 1670年代	黄味かかる 呉須暗 貯入 有	不良	□		14.9	6.7	6.2		2/3	
064	肥前	染付碗	雲龍文	荒磯文		施釉	1660～ 1670年代	薄青 呉須ややくす む	良好	□	砂粒	12.3	7.2	5.8		1/3	
065	肥前	染付碗		花文	松葉文	施釉	1655～ 1670年代	乳白 呉須暗 貫入有	普通	□		13.9	6.2	5.5		1/5	
066	肥前	染付小 碗	梅文	文様有		施釉 「宣明〇〇 (年製?)」	1660～ 1670年代	呉須明	良好	□				4.2		1/3	
067	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉 目跡有	1650年代	薄青 呉須暗 貫入有	良好	□	細砂粒			8.7		1/8	
068	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	薄青 呉須暗	普通	□	細砂粒			6.8		底部1/6	
069	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	青(緑)味 呉須暗 貯入 有	普通	□	砂粒少量	15.6	3.5	7.9		1/4	
070	肥前	染付皿	圈線	日の字鳳凰文		施釉	1650年代	青(緑)味 呉須暗	普通	□	砂粒	14.0	3.3	6.2		1/3	
071	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		ほぼ施釉	1650年代	呉須暗青灰色	良好	□	細砂粒	15.4	3.6	8.0		1/4	
072	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	薄青 呉須やや暗 貫入有	普通	□	細砂粒			6.8		底部1/2	
073	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	薄青 貯入有	不良	□	細砂粒	17.4	3.6	10.1		1/5	
074	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	薄青 呉須暗 貫入有	良好	□	部分的細 砂粒			6.5		底部1/2	
075	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	薄青 呉須薄	良好	□	細砂粒					底部片	
076	肥前	染付皿		日の字鳳凰文		施釉	1650年代	薄青灰 呉須 暗貫入有	普通	□	部分的細 砂粒					底部片	
077	肥前	染付皿	圈線	折枝文	牡丹唐草文	施釉	1650年代	薄青	良好	□	砂粒	13.6	3.0	6.6		1/4	
078	肥前	染付蓋	蓮弁文		無釉		1640～ 1660年代	薄青 呉須やや明	良好	□				9.8		1/3	
171	景德鎮	染付碗	文様有		圈線		1590～ 1630年代	薄青 呉須薄	良好	□		12.9				1/6	
172	景德鎮	白磁皿		ヘラ彫文様		17c代		良好	□							破片	

表3 遺物観察表

第5章 ホイアン旧市街地の発掘調査

No.	产地	器種	外側	見込み	内側	高台内	年代	釉調	焼成	化粧	付着物	a	b	c	d	残存	備考
173	福建・廣東	色絵碗	色絵「福」・花文(赤)・圈線(金)				20c代	上絵	良好	□		11.2	5.5	4.6		1/2	型作り(鋳型成形)上絵はゴム印
174	福建?	染付皿		菊花文		無釉	17c後半～18c代?	呉須暗	普通	□				9.9		破片	型作り 軸は剥げている
175	福建・廣東	染付皿		蛇の目釉剥	丸文	施釉	17c後半～18c前半	薄青呉須薄 貫入有	良好	□		12.8	3.5	5.8		1/5	
176	徳化	染付小碗	斜格子文・区画文		圈線		18c代	薄青呉須薄	良好	□						破片	型作り 口ハゲ
177	徳化?	鉄釉小瓶?				無釉	17c後半～18c代	外・鉄釉	良好	□				2.1		底部残	型作り
178	肥前	染付鉢	文様有		雷文帯		1655～1670年代	薄青	良好	□						口縁部片	
179	肥前	染付小碗	龍文?口縁部文様帶有		圈線		1650～1670年代	薄青灰呉須やや暗	良好	□						口縁部片	
180	ベトナム?	染付碗	型紙摺				19c後半～20c代	呉須暗	普通	□						破片	
181	ベトナム?	染付皿	文様有				19c後半～20c代	灰白色貫入有	普通	□						破片	折縁皿 欧風銅板転写
182	ベトナム	染付碗	圈線	文様有		施釉	20c代		普通	☑				4.0	2/3	胎土鈍黄橙色	

表4 遺物観察表

第3節 ディン・カムフォー第1トレンチ (DINH CAM PHO-1)

No.	产地	種類	分類	文様	胎土色	色調内外	胎土	焼成	a	b	c	d	残存	備考
079	ベトナム	長胴瓶	I類A	沈線文	灰白2.5YR7/1	外:黒褐7.5YR7/1 内:灰白2.5Y7/1	精緻	良好	15.8				口縁部1/6	口縁部に色調変化有
080	ベトナム	長胴瓶	I類B		灰赤	外:橙 内:鈍橙	精緻	良好	12.1				口縁部1/7	
081	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	灰赤2.5YR5/2と 灰白7.5YR8/2の層状	黄灰7.5Y6/1	精緻	良好					口縁部片	
082	ベトナム	長胴瓶	I類A	沈線文	褐灰5YR5/1	鈍橙5YR5/4	精緻	良好	19.0				口縁部1/6	
083	ベトナム	長胴瓶	II類A	沈線文	小砂粒含 2色のマーブル状	外:暗赤褐 内:褐灰	精緻	良好	14.3				口縁部1/3	肩部に色調変化有
084	ベトナム	長胴瓶			淡黄2.5Y8/3	外:灰黄褐10YR4/2 内:灰色N6/	精緻	良好					胸部 1/6	外側面の一部に自然釉付着
085	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	灰白7.5Y7/1	灰赤2.5YR5/2	精緻	良好					頸部 1/3	肩部に色調変化有
086	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	赤灰2.5YR6/1 灰白7.5YR8/1の層状	外:灰褐5YR4/2 内:赤灰2.5YR6/1	精緻	良好					肩部 1/6	
087	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	鈍赤褐7.5R4/3	外:黄灰2.5Y4/1 内:灰赤7.5R5/2	精緻 1 ^{kg} 程の白色 砂粒少含	良好					肩部 1/6	
088	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	褐灰5YR5/3	外:褐灰7.5YR4/1 内:鈍褐7.5YR5/3	精緻	良好					肩部片	
089	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	2色の層状	外:鈍黄褐 内:鈍橙	精緻	良好		9.3			底部 1/2	
090	ベトナム	長胴瓶	I類B	沈線文	灰赤10R4/12と 灰白2.5Y8/2の層状	外:灰黄褐～黒褐 10YR5/2～10YR3/2 内:褐灰10YR5/1	精緻	良好		11.2			胴～底部 1/4	
091	ベトナム	長胴瓶	I類B		灰赤2.5YR5/2	鈍赤褐2.5YR4/3	精緻	良好		10.0			口縁部1/6	
092	ベトナム	長胴瓶	I類B		灰白N5/	外:鈍赤褐2.5YR4/3 内:灰色S5/1	精緻	良好		11.6			底部 1/4	
093	ベトナム	長胴瓶	I類B		暗赤灰10R4/1と 灰白5YR8/2の層状	外:赤褐10R4/4 内:赤灰10R6/1	精緻	良好		11.0			底部 1/6	
094	ベトナム	長胴瓶	I類A		2色のマーブル状	外:灰黄褐 内:鈍黄橙	精緻	良好		11.0			底部 1/5	
095	ベトナム	長胴瓶	I類A		明赤褐 2色の層状	赤褐	精緻 小砂粒含	普通		16.0			1/2	
096	ベトナム	長胴瓶	II類A	波状文・ 沈線文	赤灰10R5/1と 灰白7.5YR8/2の層状	外:灰褐4.5YR4/2 内:灰色M6/	精緻	良好					肩部片	
097	ベトナム	長胴瓶	II類A	波状文・ 沈線文		外:黑褐 内:灰色	精緻	良好					肩部 1/6	
098	ベトナム	長胴瓶	II類A	波状文・ 沈線文	赤灰2.5YR5/1と 灰白7.5YR8/2の層状	外:灰褐7.5YR4/2 内:鈍褐7.5YR5/3	精緻	良好					肩部片	
099	ベトナム	長胴瓶	II類A	波状文・ 沈線文	灰色N6/	外:灰褐7.5YR4/2 内:赤灰2.5YR4/1	精緻	良好					肩部片	
100	ベトナム	長胴瓶	II類B	凸帯・ 沈線文	灰赤10R4/2	外:鈍橙5YR4/1 内:鈍橙2.5YR6/4	精緻	良好					胴部片	
101	ベトナム	長胴瓶	II類B	凸帯・ 波状文・ 沈線文	褐灰5YR5/1と 灰白7.5YR8/2の層状	外:鈍橙5YR4/1 内:鈍橙2.5YR6/4	精緻	良好					肩部片	
102	ベトナム	長胴瓶	VII類	凸帯・ 波状文?	赤灰5R6/1	外:灰赤2.5YR4/2 内:赤灰N6/	精緻	良好					口縁～肩部片	
103	ベトナム	長胴瓶	VII類		灰色N6/	赤灰2.5YR4/1	普通 白色砂粒多 含	良好					口縁部片	
104	ベトナム	壺	壺・瓶V 類			灰色N5/	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	良好	16.4				口縁部片	
105	ベトナム	壺	II類	凸帯・ 波状文	橙5YR7/8	橙5YR7/8	精緻	普通					胴部片	
106	ベトナム	鉢	I類B		灰赤10R4/2	外:灰赤2.5YR4/2 内:灰赤10R5/2	普通 小砂粒多含	良好					口縁部片	口縁部に色調変化有
107	ベトナム	鉢	I類A			外:橙5YR7/6 内:橙2.5YR6/8	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	良好	26.0				口縁部 1/10	
108	ベトナム	鉢	I類A			橙5YR7/6	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	普通	26.0				口縁部 1/8	
109	ベトナム	鉢	I類B		赤褐10R5/4	外:暗赤灰2.5YR3/1 内:赤褐10R5/4	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	良好		23.2			底部1/4	
110	ベトナム	鉢	III類B		灰赤10R4/2	外:灰赤10R4/2 内:赤褐10R5/6	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	良好	27.4				口縁部 1/2	
111	ベトナム	鉢	III類B		暗赤褐10R3/3	外:灰赤7.5R4/2 内:赤褐10R4/4	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	良好	20.8				口縁部 1/6	口縁部に色調変化有
112	ベトナム	鉢	II類B		鈍橙5YR7/4	外:浅黄橙7.5YR8/6 内:橙2.5YR6/8	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	普通	21.6			22.4	口縁部 1/2	
113	ベトナム	鉢	II類A			外:赤褐10R4/3 内:赤10R5/3	普通 1 ^{kg} 程の白色 砂粒多含	普通	20.0	10.0	13.0	19.0	口縁～底 部1/3	
114	ベトナム	鉢	II類B		赤褐10R4/4	外:灰赤2.5YR4/2 内:赤褐10R5/4	普通 小砂粒多含	良好	18.2			20.0	口縁部 1/4	
115	ベトナム	鉢	II類A		暗赤灰10R3/1	外:暗赤灰10R3/1 内:赤10R5/6	普通 白色砂粒多 含	良好	21.2	10.0	15.5	21.0	口縁～底 部片	外面スス付着
116	ベトナム	鉢				赤10R5/6	普通 小砂粒多含	普通	18.4				口縁部1/4	

表5 遺物観察表

第5章 ホイアン旧市街地の発掘調査

No.	产地	種類	分類	文様	胎土色	色調内外	胎土	焼成	a	b	c	d	残存	備考
117	ベトナム	鉢	II類B		灰色N4/	外:灰色N4/ 内:自然釉	普通 白色小砂粒多 含	良好	17.2				口縁部2/3	内側面に自然釉(暗オリーブ灰2.5GY3/1)付着
118	ベトナム	鉢	II類B		赤橙10R6/6	赤橙10R6/8	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	普通	18.0				口縁部1/8	
119	ベトナム	鉢	II類B		橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	普通					口縁部片	
120	ベトナム	鉢	II類B		赤褐10R4/3	外:暗灰M3/ 内:赤褐10R4/3	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好					口縁部片	
121	ベトナム	鉢	II類B			鈍赤褐2.5YR4/3	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好					口縁部片	
122	ベトナム	鉢	II類B			橙2.5YR7/8	普通 小砂粒多含	普通					口縁部片	
123	ベトナム	鉢	II類B			外:赤褐10R5/4 内:橙2.5YR6/8	普通 小砂粒含	良好					口縁部片	外側面スス付着
124	ベトナム	鉢	II類B		赤10R5/6	外:赤10R4/2 内:10R5/2	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好	18.0	10.0	13.7	19.1	底部 1/2欠	胴部スス付着
125	ベトナム	鉢	II類B			灰赤2.5YR5/2	普通 小砂粒含	良好	14.0				口縁部1/4	肩部付近スス付着
126	ベトナム	鉢	IV類		灰色N4/	外:暗赤灰10R4/1 内:橙2.5YR7/6	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好					口縁部片	
127	ベトナム	鉢	IV類			外:橙2.5YR6/8 内:橙5YR7/6	普通 小砂粒含	普通					口縁部片	
128	ベトナム	鉢				暗赤灰2.5YR3/1	普通 小砂粒多含	普通			17.0		底部1/4	外側面スス付着
129	ベトナム	鉢				外:灰赤2.5YR4/2 内:鈍赤褐7.5R4/3	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好			15.8		底部1/6	底部スス付着
130	ベトナム	浅鉢	I類		灰色 2色マーブル状	外:鈍赤褐 内:灰赤褐	精緻	良好	26.8		26.4		口縁部1/5	
131	ベトナム	浅鉢	I類		暗赤褐	外灰赤 内:赤褐	精緻 小砂粒含	良好					口縁部1/8	
132	ベトナム	浅鉢	I類		暗赤灰7.5R4/1と 灰色10YR8/1の 層状	外:灰赤褐10YR6/2 内:灰白N8/	精緻	良好	25.9	4.4	20.8	26.0	1/5	
133	ベトナム	大形鉢			赤橙10R6/8	外:暗赤灰10R4/1 内:赤橙10R6/8	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	普通					口縁部片	
134	ベトナム	大形鉢	I類	波状文・ 沈線文	灰赤色 2色の層状	外:暗褐 内:灰色	普通 小砂粒多含	良好	26.2	13.1	17.0	25.0	2/3	口縁部に色調変化有
135	ベトナム	大形鉢	I類	波状文・ 沈線文	2色の層状	外:褐 内:灰色	普通 小砂粒多含	良好					口縁部1/6	
136	ベトナム	大形鉢	I類	波状文・ 沈線文	灰赤色 2色のマーブル状	外:暗褐灰 内:鈍赤褐	精緻	良好	30.8	14.4	19.0	29.6	胴～ 底部片	
137	ベトナム	蓋	I類		赤灰2.5YR4/1	外:灰N5/ 内:褐灰7.5YR5/1	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好			20.2		1/8	
138	ベトナム	蓋	I類		橙	外:赤褐 内:橙	普通 小砂粒多含	普通	2.6	4.8	10.8		2/3	
139	ベトナム	蓋	I類		橙2.5YR6/6	外:鈍赤褐2.5YR4/4 内:橙2.5YR6/6	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	普通			11.8		1/3	
140	ベトナム	蓋	I類		暗赤褐	外:黑褐 内:灰褐	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好	2.0	6.2	13.9		1/3	
141	ベトナム	蓋	I類		赤灰	外:暗赤灰 内:赤灰	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好	3.3				1/2	
142	ベトナム	蓋	I類		鈍橙5YR7/4	外:灰白N7/ 内:鈍橙5YR7/4	粗 1 ^{1/2} 程の白色砂 粒多含	不良	3.6	7.7	15.8		2/3	
143	ベトナム	蓋	I類		赤灰	外:暗赤灰 内:赤灰	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好	2.9				1/3	
144	ベトナム	蓋	I類		暗赤灰	外:暗赤褐 内:赤灰	白色小砂粒多含	良好			13.4		1/2	一部自然釉
145	ベトナム	蓋	III類		層状	外:明赤褐 内:橙	精緻	良好	3.7				つまみ部	
146	ベトナム	蓋	II類		橙		精緻 雲母片微含む	普通	6.9				つまみ部	
147	ベトナム	蓋	I類				普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好	2.2	4.5	11.0		2/3	
148	ベトナム	蓋	II類	波状文・ 沈線文	浅黄橙	浅黄橙	精緻	普通					縁部片	
149	ベトナム	蓋	II類	波状文	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	精緻	普通					縁部	
150	ベトナム	蓋	II類	沈線文	鈍橙5YR7/4	外:浅黄橙7.5YR8/3 内:淡橙5YR8/4	精緻	普通					縁部片	
151	ベトナム	陶製円盤			暗赤褐10R3/2	外:暗赤灰10R3/1 内:鈍赤褐10R6/4	普通 1 ^{1/2} 程の白色 砂粒多含	良好	2.5				完形	線条文鉢片の再利用
152	ベトナム	陶製円盤			淡橙5YR8/3	外:橙5YR7/6 内:淡橙5YR8/3	普通	良好	3.1				完形	長胴瓶片の再利用
153	ベトナム	陶製円盤			灰白5Y6/1	外:黑褐7.5YR3/1 内:灰色5Y6/1	精緻	良好	3.3				完形	長胴瓶片の再利用
154	ベトナム	陶製円盤			浅黄橙10YR8/3	外:褐7.5YR4/3 内:浅黄橙10YR8/3	精緻	良好	3.6				完形	長胴瓶片の再利用
155	ベトナム	陶製円盤			灰赤2.5YR4/2	灰赤2.5YR4/2	精緻	良好	3.7				ほぼ完形	長胴瓶片の再利用
156	ベトナム	陶製円盤			橙5YR7/6	橙5YR7/6	普通 小砂粒含	普通	3.8				完形	線条文鉢片の再利用
157	ベトナム	陶製円盤			橙5YR7/6	橙5YR7/6	普通 小砂粒含	普通	4.0				一部欠	線条文鉢片の再利用
158	ベトナム	土製円盤			橙2.5YR7/8	橙2.5YR7/8	普通 砂粒含	普通	4.0				完形	土器片の再利用
159	ベトナム	陶製円盤			灰色N5/	灰褐5YR4/2	精緻	良好	3.9				完形	長胴瓶片の再利用
160	ベトナム	陶製円盤			褐灰7.5YR6/1	灰褐7.5YR4/2	精緻	良好	5.1				完形	長胴瓶片の再利用
161	ベトナム	不明			淡黄7.5Y8/3	外:鈍橙5YR6/4 内:灰白5Y8/2	精緻	普通					口縁部片	
162	ベトナム	煙管雁首			赤灰	精緻 橙	良好	1.6					破片	
163	ベトナム	煙管雁首			赤灰色	精緻 灰赤10R4/2	良好	1.6		2.2			破片	
164	ベトナム	煙管雁首			灰白	精緻 橙2.5YR6/6	良好	1.7			1.7		破片	
165	タイ	土器			鈍橙7.5YR6/4	精緻 小砂粒多含	普通						破片	

表6 遺物観察表

第3節 ディン・カムフォー第1トレンチ (DINH CAM PHO-1)

No.	产地	種類	分類	文様	胎土色	色調内外	胎土	焼成	a	b	c	d	残存	備考
166	タイ	土器		叩き目文	灰白10YR8/2	灰白10YR8/12	普通 小砂粒多含	普通					破片	
183	ベトナム	長胴瓶			淡黄2.5Y8/3	外: 鉛褐色2.5YR5/4 内: 淡黄2.5Y7/8	精緻	良好					底部片	
184	ベトナム	壺		沈線文	黄灰2.5Y5/1	外: 灰褐5YR4/2 内: 灰色10Y5/1	精緻	良好					肩部片	

No.	製品	材質	a	b	c	d	特徴	残存	備考
167	銭	銅						1/4	鋸付着
168	銭	銅						破片	鋸付着
169	銭	銅	2.5					1/2	全面鋸付着
170	鍔	鉄	1.2	1.3	4.8			破片	全面鋸付着
185	銭	銅	2.3	0.5			明命通宝	ほぼ完形	鋸付着 2つに割れている
186	かんざし	金属	2.2	2.5	1.0			ほぼ完形	
187	角釘?	鉄	0.9	0.6				破片	亀裂が入り剥離寸前
188	角釘	鉄	0.9	0.6				釘頭~身部	
189	銃弾	金属	0.9	3.1				ほぼ完形	
190	銃弾	金属	1.3	7.6				ほぼ完形	「M1 4 F 2」の文字有

表7 遺物観察表